

第16回学校水泳研究会

期日：平成28年6月4日（土曜日）午前10時～13時00分

場所：鳴門教育大学（鳴門市鳴門町高島字中島748）
健康棟視聴覚室(E202)

主催：学校水泳研究会

後援：徳島県水泳連盟

対象：学校水泳・水泳指導に関係するすべての方々

10:00 開会行事

10:05～10:35 身体がうごく・みんなでうごく・心がうごく体育学習
— 子どもの姿と意識の見取りから舵を取る —

（大櫛秀明：吉野川市立牛島小学校）

“連続だるま浮き”で呼吸を確保しつつ、動きのおもしろさを感じながら泳ぎを学習する授業研究（平成27年度徳島県小体研発表研究）について紹介します。

10:40～11:10 エクアドルの水泳事情 （糸井紀：岐阜県立岐阜高等学校）

マスタース世界記録を持つ高校教員が、エクアドルでの水泳指導者資質向上事業に携わった経験を交えて、水泳教育・アスリート育成・水泳文化について国際的な視野から話題を提供します。

11:15～11:45 子どもたちが学ぶべき watersafety としての”uitemate”と
”uitemate”により津波から生還した少女の事例

（田村祐司：東京海洋大学、安倍淳：宮城県朝日海洋開発）

水難学会理事の田村氏がまず溺水予防技能としての背浮き教育”uitemate”の必要性を解説し、次に、同理事の安倍氏が東日本大震災での津波から”uitemate”により生還した少女の事例を紹介します。

11:50～12:20 学校教育における水泳の動向 （椿本昇三：筑波大学）

エレメンタリーストローク指導の第一人者が、学習指導要領や指導の手引きの編纂に関わった経験から、今後の学校水泳の展望について語ります。

12:25～13:00 討論：学校水泳のこれから 現実を理想に近づけるための課題

（全員参加）

参加費用：無料 服装：カジュアル

問合せ先：鳴門教育大学大学院 学校教育研究科

松井研究室（088-687-6520、matsui@naruto-u.ac.jp）まで

URL <http://www.naruto-u.ac.jp/~matsui/sss/ssstop.html>

資料等の準備の都合上、参加を希望される方は、予め参加者情報（氏名、所属、連絡先住所、電話、email、等：書式自由）を email(matsui@naruto-u.ac.jp)または Fax（088-687-6028）でお送りください。



鳴門教育大学建物配置図

自動車以来学される方へ：

国道 11 号鳴門インター北約 1.5kmT 字路を東に倒れ、中山トンネル、小鳴門大橋経由で高島へ渡り、鳴門ウチノ海総合公園前を右折するルートが便利です。大学構内へは正門よりお入り下さり、第 5 駐車場をご利用下さい。